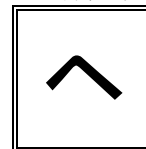


平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号



男子 ・ 女子 3回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田 D コート

<u>市邨学園</u>	<u>14</u>	<u>9</u> — <u>6</u>	<u>5</u> — <u>6</u>	<u>12</u>	<u>昭和学院</u>
チーム名	総得点	7mTC		総得点	チーム名

両チームとも堅いDFで容易に得点を与えない。昭和に得点のチャンスがあったものの、市邨GK12番原のファインセーブが連発。開始から18分で両チームともセットでの得点のみで4-3。流れが変わったのは残り5分を切ったとき。昭和が立て続けに2人退場。市邨の持ち味である速攻が決まりだし6-9で前半が終了した。市邨は消極的、昭和は攻撃的なDFでタイプは違えど後半になっても衰えるどころか、強さは増しているように思える。後半15分から昭和5番山根、10番赤石のシュートが決まりだし5連続得点で12-12となる。25分市邨15番野間のロングで追加し、残り10秒さらに14番鈴木のミドルで試合が決まった。